

日本共産党粕江市議団ニュース

2018年8月28日 臨時号

発行：日本共産党粕江市議団

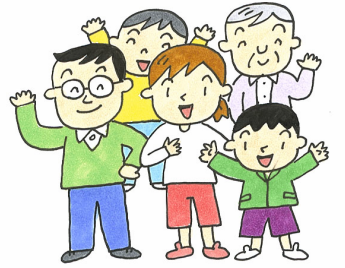
連絡先：市議会控室3430-1177

日本共産党粕江市議団の活動を紹介します。

人権と暮らしを守る市政へ

日本共産党が補正予算組み替え提案

8月27日に開かれた市議会本会議では、市長提案の補正予算の審議が行われ、日本共産党市議団は市民要望を盛り込んだ補正予算組み替え提案を行い奮闘しました。



自民・公明など反対否決

補正予算は、前年度の繰越金9億1800万円や地方交付税の増額分2680万円などを活用して、介護者支援事業や中学校の部活動の指導員報酬、西和泉体育施設のフェンスの設置費などにあてることも、公共施設整備基金に2億5千万円、同修繕基金に1億5千万円、財政調整基金に1億8400万円、清掃施設整備基金に5千万円をあてている。



しかし、前年度の決算で10億円余の剰余金が出て、今回、繰越金が9億円あまり増額されたにもかかわらず、貧困と格差の中で急務となっている市民生活支援策

への対応はなく、首都直下型地震災害の切迫性が指摘されている中で、災害対策への対応も十分なされていません。そして市政を揺るがした前市長のセクハラ問題への対応も、本補正予算では全くなされず、最終日に審議予定の補正予算でも、十分な対応とはなっていない。

また、市民の強い要望となっている、市民センターの増改築で、中央図書館・公民館を抜本的に拡充してほしいという要望にも応えていません。

そのため日本共産党市議団は、原案の問題点を是正し、市政を前進させる補正予算の組み替え提案を行いました。

提案では第1に、市民生活支援策について、ひとり親家庭への家賃補助制度の創設や訪問介護など介護保険利用料の軽減制度の創設、また生活保護世帯へのケアコソ設置への支援や公民館利用者への市役所駐車場利用料金を3時間まで無料とする軽減制度などを実施するものとなっています。

第2に災害対策では、災害死者ゼロをめざして、防災行政無線の戸別受信機の貸出し制度の創設や通学路等公道に面したブロック塀改修への新たな補助制度の創設、また、高齢者のみ世帯や障がい者世帯への家具転倒防止器具の取付け費と購入費への助成を実施するものになっています。

第3に、市民センターの増改築で中央図書館・公民館の抜本的な充実を実現するために、その財源となる公共施設整備基金の積み立て4億1991万円へと増額し、年度末残高見込みを9億2千万円として、増改築への展望を大きく切り開いています。

第4に、前市長のセクハラ問題の検証のために専門家による委員会を設置する予算や、第2回定例会で可決されたハラスメント防止条例の抜本改正も含め、しっかりとしたハラスメント再発防止対策を確立するための市民参加の委員会を設置する予算が盛り込まれています。

第5に、前市政での不適切な市長交際費の使用を是正する、新たな基準が作成されたことに伴い、市長交際費を10万円削減し従来の70万円に戻しています。

採決の結果、この提案は、自民、公明、三宅、山田、吉野、太田、辻村議員が反対、共産、社民が賛成しましたが、賛成少数で否決され原案が可決されました。

質疑の中で松原市長は、「災害対策については来年度に向けて検討していく」と答えました。日本共産党は、ひきつづき提案した施策が実現するようがんばります。

松原市長が所信表明

前市長のセクハラ問題の検証なし

27日の本会議では松原市長が所信表明を行いました。

松原市長は、粕江市の基本構想の中にある「平和を求め人権を尊重するまちづくり」をあげ、「人にやさしいまちづくり」を政治姿勢の基本にすえてとりくんでいくと述べました。また前市長のセクハラ問題については人権尊重基本条例の制定にとりく

災害死者ゼロへ

家の中でよく聞こえる 2000台
防災無線の戸別受信機貸出

老朽化し危険な
ブロック塀の改修に助成 50件

高齢者・障がい者への 500世帯
家具転倒防止器具設置助成

市民生活支援へ

ひとり親家庭へ家賃補助 月5千円

介護利用料の低所得者軽減

生活保護世帯にエアコン設置

公民館利用者の駐車料軽減

ハラスメント防止へ

前市長のセクハラ検証委員会

再発防止へ市民参加の委員会

中央図書館公民館の増改築へ

公共施設整備基金を9億円余に

松原市長は、粕江市の基本構想の中にある「平和を求め人権を尊重するまちづくり」をあげ、「人にやさしいまちづくり」を政治姿勢の基本にすえてとりくんでいくと述べました。また前市長のセクハラ問題については人権尊重基本条例の制定にとりく